

新しい命が目覚める春。
 ゴツゴツとした木肌の老木が毎年可憐な花を咲かせる姿に命の
 不思議さを感じます。
 この木の様にこれから歳を重ねても新鮮な気持ちを持ち続け
 たいと願います。



「春の詩」

赤間 龍太

個が生きる表現

ウエダ清人

絵画や書に限らず、表現にとって個性がある作品は鑑賞者を引き付ける。技術上の巧拙は表現にとって重要な要素ではあるが、作者の個性を大事にしてテーマに迫ることはより意義深い。

昨年十二月「風の大地美術館」で「ほっとな仲間たち作品展」を開催した。本企画展は、個の持ち味を生かし作品作りに取り組んでいる3名に視点をあてたものであった。茂田弘毅、堀僚太郎、山口亮の作品作りについて紹介したい。

茂田弘毅は、紐作りを基本にして、彼独自の繊細さと大胆さを併せもち創造性豊かな陶芸作品を制作している。またオブリジェ的傾向の立体表現は見事である。

堀僚太郎は、細かなビーズを駆使した配列と、優れた色彩感覚との組み合わせにより、美しい平面作品を作り上げている。一粒のビーズから広がるアート作品は他に類がない。

山口亮は、布地にアクリル絵の具を使い、身近なものを個性的な線と造形性豊かな色により表現している。また見る人に物語性を感じさせる夢あふれる絵画を制作している。

この作品展を通して、彼らと一堂に作品を展示することにより、私が忘れかけていた「個を生かす表現」の大切さを、再認識できたことに感謝している。

2019年第16回定期総会

【日時】平成31年4月21日(日)10:00~12:00

【会場】ホテルセントヒル長崎 3F紫陽花の間

NPO法人長崎市美術振興会 第16回定期総会

【日 時】 平成31年4月21日(日) 10:00～12:00

【場 所】 ホテルセントヒル長崎3F 紫陽花の間

長崎市筑後町4-10 TEL 095-822-2251

【懇親会】 1F出鳥の間<時間:12:30～ 会費3,500円>

当会の第16回定期総会を上記のとおり開催いたします。
ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席賜りますようにご案内申し上げます。
なお出欠のハガキを同封しておりますので4/10(水)までにご返送ください。
総会成立には定足数の規定がありますので、欠席のかたも委任状にご署名・捺印の上、必ずご返信ください。

議事

○第1号議案

H30年度の事業・活動報告並びに
活動計算書報告

○第2号議案

H31年度の事業・活動計画並びに
活動予算案について

○第3号議案

定款の変更について



進化してきている美振

理事長 笹田 未人

アートフェスティバルから始まり、長崎市民美術展、小品展・即売会などが開催され、多くの方々とふれあう機会を得たことと思います。今年の美術振興会の行事には、変化があり一歩前進しました。年々、美術団体の会員や公募展の出品者が減ってきているのが現状ですが、アートフェスティバルにおいては新たな試みとして写真部が猫をテーマに特別な募集をかけたところ親しみやすいこともあり学生や一般の方の出品が増えました。また今年の、市民美術展においてはクリエイティブ部門の出品者が急に増えて市長賞まで設けることができました。若手の斬新な作品が増えたことが非常に喜ばしいことでした。小品展・即売会におきましては、昨年よりKTNギャラリーでの開催で2年目となり会場は盛り上がりを見せ、会員の皆さんの良きコミュニケーションの場にもなっております。誰もが気軽に参加しやすい内容の研究会やワークショップなどの開催。研修旅行をもっと幅広く考えいرونな方が参加しやすいようにする工夫。また、他の分野とのコラボレーションなどの取り組みも期待できると思います。皆さんで知恵を出し合ってください。楽しい美術振興会を造っていきましょう。



秋の温泉旅行中、前日の雨で勢いよく流れる滝に感動して描きました。
日本画「東洋のナイアガラ」前迫千恵子



溪流の動に、やませみの静を添景にして絵を構成しました。
水墨画「やませみ」福山瑛也



間伐材の奥で一斉に鳴く蟬の声が聞こえてくる様な絵にしたかった。
洋画「蟬しぐれ」荒木季仁



南画の伝統を大切に学んできますが基本である竹、蘭を明月に浮び出す事で竹林の奥深さを表現しました。大賞を頂きました事有難くこれ迄御指導下さった諸先生へ感謝申し上げます。
南画「竹林名月浮」大川靖子

第67回市民美術展 市長賞おめでとう！

僅かな思ひ破れ種を先其未苦宮天を預け
外斜る待祇を後数三汗功聴歩揚身隆令申
限る水味恐て杖入善善師書師 隆弘

文字の潤滑、太細、粗密等を意識し、調和がとれた作品を目指しました。
書「唐詩」佐々野隆弘



今回市長賞をいただき感激しました。受賞に恥じないよう作品造りに頑張ります。
工芸「空」古木茂



悠久の大地の動めきと共同制作者各々の人生の流れを重ね合わせている。
クリエイティブ「大地の始動」
長崎市精神障害者相談支援センターやまぼうし



毎年2月と10月の午後3時頃、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の地下2階の床にできる虹の写真です。展覧会後、長崎市へ寄贈する予定です。
写真「長崎原爆犠牲者追悼の虹」
川上正徳

「新章ジャパンビューティ」展

2018年12月12日(水)～2019年1月20日(日)
まで長崎歴史文化博物館にて開催されました。

様々な姿の女性を描くことは日本美術における重要なテーマのひとつでした。古くは正倉院に伝わる「鳥毛立女屏風」から始まり、江戸時代には鈴木春信などの浮世絵師たちがその時代の女性像を創出してきました。それらはいつか「美人画」と呼ばれるようになりました。

※西の上村、東の栗原といわれた。
玉葉の代表作「お鶴」は永らく行方不明でしたが今回所在が分かり展示されました。



栗原玉葉《お鶴》大正4年・個人蔵

本展は江戸時代末期から昭和初期にかけて絶大な人気を博した美人画に注目する展覧会です。

今回、長崎会場では大正時代に活躍し天折した、長崎出身の女性画家、栗原玉葉(1883～1922)の作品60点が公開されました。



栗原玉葉《朝妻桜》大正7年・個人蔵



栗原玉葉《童女図》大正10年・個人蔵

美術往来

工芸部 北島直美



「プロフィール」

1955年生

工芸美術日工会会員、工芸美術知新会会員
日展入選5回、日工会展日工会会員賞他、
知新会展中里逢庵賞他、
長崎県展美術協会賞

十年前、作品の方向に行き詰っていた。なんとなくデザイン中心で制作していたが、何か違うような気がして焦っていたように思える。そんな時、美振で知り合ったSさんから、唐津の知新会という工芸の研究会に誘われ参加してみた。陶芸、染色、染織、人形、皮革、七宝の作家が作品について真摯に批評や指導を受けていた。その秋、先輩に誘われて、六本木の国立新美術館に「日展」を観に行った。工芸美術部門中心に見たのだが、工芸の作品は、前述以外に、ガラス、紙工芸、金工、漆芸、竹、キルティング、刺繍等多岐にわたっていたし、一つ一つの作品がとても個性的で、素晴らしかった。その時の感動が、それからの制作の原動力になっている。そして、何より表現したいという主題を持つことが大切だと学んだ。今の課題は、表現に説得力を持たせるための技術！「もっと上手に作れるようになりたい」とつくづく思っている。

「工芸美術」に出会って



「風刻」

研修部

第17回長崎アートフェスティバル

【日時】7月23日(火)～7月28日(日)

【場所】長崎県美術館県民ギャラリー全室

美術振興会全部門の概要を広く紹介する総合展です。新会員獲得の機会でもあります。過去の同展で未発表の作品であれば出品できます。また、イベント・ワークショップなども募集しております。美術振興会会員であれば作品ジャンルを問わず発表できますので、初めての方、常連の方も奮ってご参加ください。

南画部

活動報告

○南画部委員会(於三菱記念会館)

・9月22日(アートフェスティバル報告・市展・小品展について・第30回南画部展について)

・2月2日(市展報告・小品展について・第30回南画部展について)

○第30回南画部展

・3月5日～3月10日まで長崎県美術館県民ギャラリーB室で開催されました。

活動予定

○第1回南画部委員会(於三菱記念会館)

・5月18日(土)10時30分～12時

議題・H30年度南画部決算報告・H31年度総会報告・事業計画・アートフェスティバルについて

写真部

写真教室大好評で終了!

写真部長 仁位孝雄

今回初めて市展会期中に写真教室を開催、定員を大きく上回る51名の参加者で出品点数も71点と予想以上のご出品を頂きました。内容は、講師として当会会員の前波政昭先生のテーマ「私の写真歴!」を約50枚の写真で50年間に亘る写真活動について講演、その後71点の作品の講評・指導を頂きました。

出席者からは、講演、作品講評共に好評で「来年も開催して欲しい」、「トリミングの仕方が良く理解できた」、「自分の勉強不足が分かった」、「市展の前後期の入れ替えを」等々のご意見を頂きました。

寒い中ご参加頂きました皆様、講師の前波政昭先生有難うございました。



工芸部

活動報告

○市展報告、工芸応募数62点、入賞9点、入選41点をいただきました。

○ブリック開館20周年感謝祭という事で工芸部もコラボに参加しました。

○小品展・展示、販売が3月1日～3月3日にKTNギャラリーで行なわれました。

活動予定

○7/23～7/28までアートフェスティバルを予定しております。工芸部からもふるってご応募下さい。

○恒例の工芸部講習会を9月に友禅型染めを予定しております。詳細は改めてご案内いたします。皆様のご参加をお願い致します。



事業部

第16回「小品展・即売会」

平成31年3月1日(金)から3月3日(日)までKTNギャラリーで開催されました。

雑壇も喜ぶ作品ありがとうございました。

日本画部

日本画部研修会報告

・日時 平成30年10月27日 10時～12時

・場所 長崎総合科学大学附属高等学校

笹田末人理事長を講師として「構図・色彩の基礎・基本」をテーマに研修会を開催、参加者17名半数は洋画部の方々です。先生が日頃から使っておられる部屋で、高校生になりきって、授業を受けた。室内壁面は先生の作品で飾られ、自ずと芸術の雰囲気を出す。

デッサンの基礎的な考え方・技法を中心に懇切丁寧なご指導に集中した2時間であった。

絵に対する考え方や鑑賞の仕方を語られる中で「絵は創っていくものである」との説明に、共感と感動を覚えた。

その後、近くの料亭での昼食はとても賑やかに交流を深めることができた。



洋画部

平成31年6月に着衣のデッサン会の開催を予定しています。今回は民族衣装をまとったモデルさんを考えています。詳しい日程が決まり次第お伝えします。

—日中平和友好条約締結 40 周年記念—

日中美術交流展

2018年10月6日（土）～10月21日（日）まで、長崎県美術館県民ギャラリーにて開催されました

日中平和友好条約締結 40 周年を記念して、日本国内で活躍する中国人画家 11 名と長崎県美術協会会員 90 名による特別展「日中美術交流展」が開催されました。

主催者を代表し、劉亜明中国駐長崎総領事が「日中両国の文化交流を促進し、国民の相互理解の増進につながることを信じ、これからも長崎総領事館は、双方の文化交流をはじめ、各分野の友好交流と実務協力を新たな段階で取り組み推進していきたいと願っています」とあいさつされました。



平田研長崎県副知事は中村法道知事の挨拶を代読し、「長崎はいにしえより中国文化の窓口として栄えてまいりました。黄檗宗の開祖・隠元禅師が長崎に来られ、禅宗と共に芸術・衣食住に関わるもの等、様々な分野を伝え深く浸透し受け継がれてきました。また長崎出身の実業家梅屋庄吉が中国民主革命の父、孫文の思想に共鳴して、その活動を支え日中の心と心の繋がりに生涯を捧げました。本展覧会もまた、芸術文化による長崎と中国の友好交流の新たな歴史を刻むものとして多くの県民のみなさまにご観覧いただけることを願っています」と述べられました。



10月6日（土）11時より中国人画家3名による人物や山水、花鳥画を描くデモンストレーションが実施されました。



中国は水墨画と洋画、中でも水墨画が多くを占め、日本では書、日本画、洋画、写真、デザイン、彫刻及び染物等々作品が多岐にわたりました。



写真・まとめ
赤間龍太・永福慶子
田平芳信・桑原淑子
小中恵子

